

読者のみなさんのご支援に感謝します



小川・吉開 検索

田尻町支部活動募金
1口200円のお願

なんでも相談は
月・水・金の
午前10時～正午
465-9939

12月の弁護士相談は
21日(金)
夕方6時～8時
事前予約が必要です

衆議院選挙 田尻町での結果

比例は、得票率10%以上で共産党票では大阪の行政区で第4位の得票。
小選挙区は、10%に少したりず、きわめて残念でした。

比例代表の開票結果

日本共産党	391
自民党	954
民主党	321
公明党	500
維新の会	1394
みんなの党	154
社民党	40
未来の党	110
幸福実現党	12

※得票総数 3876

大阪全体 314,840(7.74%)
全 国 3,689,159(6.13%)

小選挙区の開票結果

たのうえ聡太郎	380
長安たかし	803
丸山ほだか	1406
谷川とむ	1205

※得票総数 3852

大阪全体 462,260(11.69%)
全 国 4,700,289(7.88%)

「草の根の党」の議員として、自分の選挙以上にとりくみました 小川ゆうじ

この総選挙でご支援いただいたすべてのみなさんに感謝申し上げます。私は11月14日から日曜祭日を除いて土曜日も早朝、吉見ノ里駅前で日刊「赤旗」の見本紙をもってアピール。自分の選挙以上に頑張つて「なんとでも勝ちたい」思いでした。

18日駅前「総選挙結果について」の党本部の声明を配りながらごあいさつ。日刊「赤旗」の見本紙をお読みいただいた方から「入れたよ」とのうれしい声。通勤者の笑顔と草で、あたたかい、駅立ちでした。



12月12日付しんぶん「赤旗」社会面の全国版に掲載されました。

今の政治の歪みの根本「アメリカいいなりの日米安保体制から友好条約に。消費税増税を主張しながら自らは減税を受け、その実際の税率は中小企業よりも低い平均19%の大企業にたいして、責任を果たせと迫る企業献金とは無縁の日本共産党は、自ら風を起す。ことなく躍進できません。政治体制を本気で変える党の試練です。全国に2万の党支部、2700人を超える党地方議員。草の根の大きな党の訴えは必ず伝わり信じてがんばった選挙でした。訴えがとどいたところではご支援いただきました。

「マスコミの影響やなあ」の共通した声

公民館で開票立会するとき、「なんで活動はじめて間のない候補者がこんなにとるんや。マスコミの影響としか考えられへん」などつぶやきが聞こえました。民主党の大敗、でも自民党圧勝には熱気がありません。4割の得票でその倍の8割の議席をしめる小選挙区のマジックがあります。

来年度予算で「一般住宅用太陽光発電パネル」の設置に補助金の導入を 吉開議員

現在、国から1キロワットあたり3万円の補助
+
府内約4割(17)の自治体が補助を実施

近隣では	1キロワット当たりの補助額と上限
熊取町	2万円で上限8万円
貝塚市	3万円で上限22万円
岸和田市	2万5千円で上限10万円
泉大津市	3万円で上限9万円
堺市	7万円で上限28万円

(11月30日現在 太陽光発電普及拡大センターのHPより)

設置者である住民の負担軽減、
自然エネルギーへの転換がすすむ

吉開議員は11月、自宅に太陽光発電パネル21枚設置し太陽光発電システムを導入しました。出力は、5.35キロワット、国から1キロワットあたり3万円の補助を受け、約16万円が設置費用から値引きになったことをあげ、田尻町からの補助があれば、設置者の負担軽減になり、自然エネルギーへの転換がすすむので、来年度予算で補助金導入を求めました。

来年度予算での補助導入は考えていない 町当局の答弁

太陽光発電システムの価格は年々低下傾向にあります。これにより、減価償却期間が短縮され、市場では太陽光発電が普及する土壌は相当成熟してきていると推察されます。よって田尻町では、今しばらく国の補助制度、電力買取価格やシステム価格の推移などの情勢を見極める必要があると判断しており、来年度予算での導入は考えていません。などと答弁がありました。



ご購読ありがとうございます。年末ですので集金は早めによせていただきます。よろしくお申し込み申し上げます。また、来る年も継続してご購読いただけますようお願い申し上げます。

今月6日に行った12月議会での一般質問の報告です